



2020-2021 年度
国際ロータリー第 2820 地区
クラブ会長、幹事
奉仕委員長 各位

2020-2021 年度
国際ロータリー第 2820 地区
ガバナー 池田 正純
奉仕プロジェクト
職業奉仕総括委員長 金田 英樹
社会奉仕総括委員長 佐川 真治
国際奉仕総括委員長 石井 康弘
青少年奉仕総括委員長 川上 美智子

第 2820 地区奉仕プロジェクト研究会中止に伴う資料の配布について

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より地区運営に多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、7月に予定しておりました 2820 地区奉仕プロジェクト研究会におきましても、最大で 300 名以上のロータリアンが一堂に会す研究会であり、万が一にもウィルスの蔓延がおきてしまつては大変な事態になることを予防する為に、大変遺憾ながら中止とさせていただきます。

地区奉仕プロジェクト研究会を中止にすることとなり、クラブの皆様には大変ご迷惑をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

今回、研究会開催に替わりまして、奉仕プロジェクト研究会資料を配布いたします。

青少年奉仕研究会資料は冊子での配布をさせていただきます。

職業、社会、国際の各奉仕委員会資料は U S B メモリにて配布をさせていただきます。

U S B 内に「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」と 3 つのフォルダーがございますので、ご面倒でも各奉仕委員会にお分けして頂けますようお願い申し上げます。

資料は P D F の他、パワーポイントにもしてございますので、各奉仕委員会だけではなく、例会等でも使用できるかと存じます。

また、別冊子には、池田正純ガバナーをはじめとする皆様のご挨拶の他、社会奉仕委員会の資料説明書、国際奉仕委員会の「この指とまれ」事業を紙資料として添付してございます。

どうぞ奉仕活動にお役立ていただけますようお願い申し上げます。

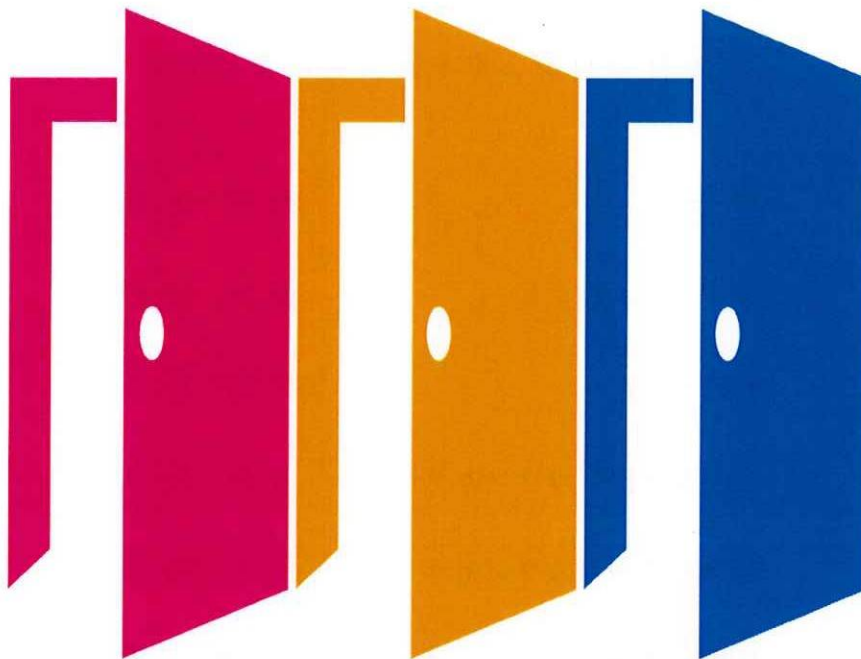
末筆となりますが、クラブの皆様の益々のご活躍とご健勝をご祈念いたします。

敬具



2020-2021 年度 国際ロータリー第 2820 地区

奉仕プロジェクト研究会



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

(2020-2021 年度国際ロータリーテーマ)

「ロータリアンのイノベーション・磨こう人間力！」

(2020-2021 年度 2820 地区テーマ)

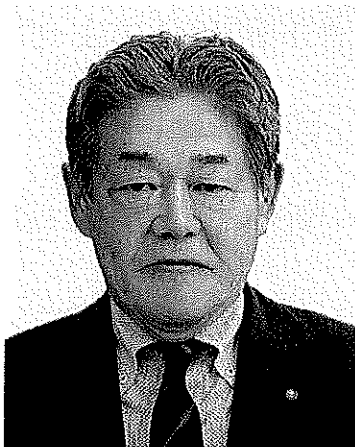
2020-2021 年度

国際ロータリー 第 2820 地区

奉仕プロジェクト研究会

「奉仕プロジェクト研究会によせて」

ガバナー	池 田 正 純
ガバナーエレクト	新 井 和 雄
研修リーダー	高 橋 賢 吾
職業奉仕担当カウンセラー	白 戸 仲 久
社会奉仕担当カウンセラー	倉 沢 修 市
国際奉仕担当カウンセラー	佐 藤 衛
青少年奉仕担当カウンセラー	高 橋 賢 吾
職業奉仕総括委員長	金 田 英 樹
社会奉仕総括委員長	佐 川 真 治
国際奉仕総括委員長	石 井 康 弘
青少年奉仕総括委員長	川 上 美 智 子



奉仕プロジェクト研究会によせて

R.I.2820 地区ガバナー

池田 正純 (牛久 RC)

100年に一度の大変な疫病の発生により、ロータリー活動は申すまでもなく社会活動、経済活動にも多大な影響を与えております。その為数ヶ月にわたり例会が出来ずに休会をしているクラブも多々あると存じます。

国際ロータリーの四月の理事会に於いてロータリーの会合や行事は参加者の健康と安全を守るため2020年末までオンラインで行うことを強く奨励すると云うお達しがあったものですから、皆様もズーム例会、ズーム会議等で実施しているところも大分見受けられます。

コロナ禍がなければ、このような会議はもっと少なかったと思います。まさに必要は発明の母と申しましょうか誠に現実に見合ったアイテムかと思っております。しかし今はまだ有事であります。いろいろな制限が緩和されておりますがこれから二波、三波来ると心配しております。

私のモットーで中国は明の崔後渠という陽明学者の六然(りくぜん)という教えがあります。自処超然、処事靄然(あい)、有事斬然、無事澄然、得意澹然(たん)、失意泰然の六つの然ですが、3番目の有事斬然がまさしく今の事態であります。こういう時こそ危機管理能力が問われます。素早い決断と、きびきびと実行に移さなければならない時であり、事がおければ勇断を持って処理しなさいと言っております。

ロータリアンの皆様はビジネス界社会生活界のリーダーでありますので皆さんの行動次第で将来の地域や地区が大きく変わるとおもいます、素早い行動をお願いいたします。



奉仕プロジェクト研究会によせて

ガバナーエレクト

新井 和雄（下館 RC）

21 世紀は、世界の飢饉、疫病、戦争の発生が減少し、より平和な社会へ向かっているかに見えました。一方で、人間の生活スタイルには大きな変化がありました。物は豊かになり、社会保障も充実し、海外旅行を楽しみ、人びとは都市を好み豊かな生活を享受してきました。

そうした容易い国外移動や都市の高人口密度に乗り、新型コロナウイルス感染症は瞬く間もなく国境を越え世界中に拡散してしまいました。

そしてこのウイルスは、私たち人間社会を恐怖に陥れただけでなく、経済活動も麻痺させ、将来に新たな課題を突きつけています。それは、グローバル社会において、私たちの身の回りに起こる負の事象は、個人やコミュニティ、或いは国でさえ解決することができない、世界を巻き込む問題になってしまうということです。

例えば、ネパールでは温暖化によりヒマラヤの氷河が融解し氷河湖となり、それが大雨などをトリガーにして決壊したことにより、この 20 年の間に 14 の村が流され甚大な被害を与えました。その一因が、我々先進国が排出してきた温室効果ガスであるという IPCC の報告は、国際的合意となっています。このように、気候変動による災害は国や地域を越え地球環境を脅かしています。

また災害には、人間の都合で引き起こされる紛争災害もあり、小さなグループ同士の争いは、容易に国境を越えた巨大な社会グループの対立に拡大します。そして、紛争被災者は広範に及び、争い事に全く無関係な子どもたちを含む市民の生活環境を脅かしています。

さらに、新たな災害の新型コロナウイルス感染症は、僅か数ヶ月の内にパンデミックとなり、世界中の社会経済環境を凍りつかせています。

今、私たちは、人間の幸福とは何かを再確認し、より幸せに生きるための新たな社会・経済・環境について考え直す必要性に迫られているのではないのでしょうか。

これらを鑑み、地域での活動がグローバルな問題に貢献できることに着目された池田ガバナーは、地区目標に「環境問題」への対応強化を掲げられました。あわせて、今般ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、7 つ目の重点分野に「環境の保全」を加えることを採択しました。この気運を生かし、池田ガバナー年度の目標達成に向けて各クラブが一丸となり、それぞれの地域で奉仕プロジェクトを推進して行こうではありませんか。

地域における私たちの奉仕活動は世界の良い変化に直結しています。我々ロータリアンは広い視野を持ち、それぞれの地域に奉仕することが求められているのだと思います。

Think Globally Act Locally！（グローバルな思考を持ち地域社会に貢献しましょう）



奉仕プロジェクト研究会によせて

研修リーダー

高橋 賢吾（水戸西 RC）

新型コロナウイルス感染の影響により地区の様々な研修会が自粛されていますが、今までのロータリーは顔を合わせた会議並びに奉仕活動が行われていましたので、ロータリーの弱点が露出したように思われます。もうすでに R I や他地区では、オンラインミーティングが行われていますし、ロータリークラブ定款には「例会は直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。」とされています。2820 地区の会議体も全てオンラインでとは言いませんので、地区委員会が率先してオンラインと従来の顔を合わせる会合や活動を上手に組み合わせて行えるように努めていただきたいと思います。

さて、本年度の地区組織は、職業・社会・国際・青少年奉仕の 4 つの委員会を「奉仕プロジェクト」と位置づけしました。日本のロータリークラブだけではなく、世界各国のクラブは、少人数のクラブが増加しているのが現状です。皆さんご承知の通り 2820 地区でも 30 名以下のクラブが 70 % を占めています。これらの少人数クラブでは、様々な奉仕プロジェクトを実施したいと思っても、マンパワーと資金力で限られたプロジェクトしかできないのは当然です。最も危惧されることは、小人数クラブが効果的な奉仕プロジェクトを計画できないことや断念してしまうことです。地区奉仕プロジェクトの各委員会は、R I やロータリー財団のプログラム及び地区外並びに 2820 地区内各クラブのプロジェクト情報の提供により、そのクラブが得意とする分野とクラブ独自の奉仕活動ができるような支援をすることが使命です。

またクラブは、奉仕活動を実施するにあたり、奉仕活動の 3 つの要素である「地域社会のニーズを取り入れる」「持続可能である」「効果が確認できる」を視野に、綿密な計画と調査を行う必要があります。それにより、他クラブではできないクラブ独自の効果的で持続可能な奉仕プロジェクトを推進してください。

今年一年間、池田ガバナーの地区方針の実現に向けて地区奉仕プロジェクト各委員の皆様のご協力をお願いし、各委員会が素晴らしい成果が得られますことを祈念しまして挨拶いたします。



奉仕プロジェクト研究会によせて

職業奉仕担当カウンセラー

白戸 仲久（古河中央 RC）

ロータリーの目的第1～第4とありますが、その中の第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とあります。

そして職業奉仕の目的では

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

以上のことを奨励し育むことが求められていますが、私が入会した40数年前では職業奉仕はロータリーの金看板と言われていました。

上記の目的を遂行していれば必ず仕事に成功すると言っても過言ではなかったのでしょうか。

私の若い頃、仕事を誠実に行う会社や人のことを「あの人、あるいは会社は固いから」と言われたものです。

この精神は今も変わらないものと思いますが、最近目にする事はコンプライアンスの欠如が多々見受けられます。

小さな不正も大きな問題に発展し、会社が倒産に繋がる事例等も多く報道されています。

ロータリアンの皆様にはコンプライアンスを遵守され不正のない仕事をするのが職業奉仕の目的、各自の職業を高潔なものにすることに通じるのではないのでしょうか。



奉仕プロジェクト研究会によせて

社会奉仕担当カウンセラー

倉沢 修市（竜ヶ崎 RC）

奉仕の理念（The Ideal of Service）は、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーが易しく解説しました「他人を思いやり、他人のために尽くす」です。活動は「陰徳の美」から「陽徳の団体」へ時代に即応した活動を実践へ、特に地区補助金・グローバル補助金の積極的利用による、ロータリアンらしい奉仕活動の実践です。

ロータリーの第一標語「超我の奉仕」 自我を捨てて利他の心を涵養し、利己の心を乗り越え、無心に尽くそうとして、「超我の奉仕」に至ること。

第二標語は「最もよく奉仕するもの 最も多く報われる」 シェルドンの創作した原意が金銭的な利潤追求の目的であることから、「超我の奉仕」より格が下位にあるかのような扱いを受けることが多く、またその「報い」が精神的なもののように解釈されることが多いようですが、ロータリー活動を末永く努め、相応の寄付も行うことを望めば、当然自分の事業が栄えて、経済的な基盤がなければできぬことです。シェルドンのセールス術成功のモットーではないでしょうか。

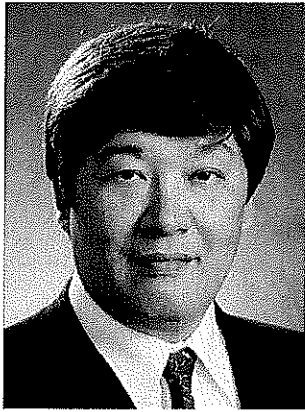
今年度の社会奉仕委員会メンバーは、佐川真治委員長（水戸東）・白戸里美（古河東）・佐藤ぱうろ（土浦）・高島章行（日立南）委員の4名です。社会奉仕委員会第1回会合は6月6日に行われ、名刺交換から始まりました。通年ですと3月8日の地区チーム研修セミナーでの初会合です。新型コロナウイルス感染症のため緊急事態宣言が発令され、いろいろな行事、仕事の方もすべてが止まってしまいました。我々の生業があることが前提であり、冷静に世の中を判断する必要があると思われます。今後、委員会はオンライン会議等で行えばとの話も出ました。

コロナウィルスとうまく共生できる感触を持っている人は少ないと思います。早急にWITHコロナとAFTERコロナにおける経済活動についての戦略を立てなければならないと思います。

ポール・ハリス語録より

「……世界は絶えず変化しています。

そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません 」



奉仕プロジェクト研究会によせて

国際奉仕担当カウンセラー

佐藤 衛（水戸南 RC）

国際奉仕というとロータリアンの皆様は何を思い浮かべるでしょうか。

一般的にあまりなじみがないこともあり、否定的なご意見をお持ちの方も多数いらっしゃると思います。

「お金がかかる。」「何をやっているのかわからない。」「好きな人たちがやっている。」等の意見が、私のクラブの中でもよく聞こえて来ます。

そんな時、私が必ずお伝えするのが、「とにかく一度参加してほしい。参加して奉仕の現場を見てほしい。」ということです。なぜなら、「百聞は一見に如かず。」の言葉どおり一度経験し、見ていただくだけで、国際奉仕がなにかを理解していただけるからです。

国際奉仕の醍醐味は、対象国のニーズに合った事業を現地のロータリアンと共同で実施することによって得られる、信頼や仲間意識といった、強固な人間関係やクラブ同士の関係を築けることにあります。

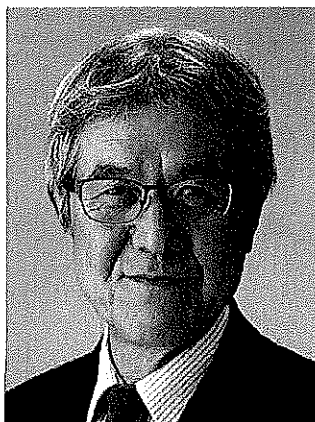
また、当地区の国際奉仕事業が、偏った地区にだけに実施されているのご批判も耳にいたします。残念ながら、当地区の国際奉仕の過去には、お金だけを取られて事業が完遂しなかった例が2, 3件ありました。

その様な経験上、現在は、友好地区や、姉妹クラブ、友好クラブなど、信頼関係があり、ニーズや状況を正確に把握でき、現地での活動を一緒に実施できる地域との事業を優先的に選択していることをご理解願いたいと思います。

ともあれ、世界理解、親善、平和を推進する事がロータリーの使命である以上、私たちロータリアンは、もっと国際奉仕を理解し参画することが求められているのではないのでしょうか。

私たちの地区には、「このゆびとまれ」という素晴らしい国際奉仕のシステムが存在します。自分たちで企画しなくても、その事業に協賛することで現地活動にも参加できるという、まさに国際奉仕を理解するためのプログラムといえると思います。ぜひ、一人でも多くの方の参加をお願いいたします。

本年は、何年かぶりに国際奉仕が単独のカウンセラーを置くことになります。私でその重責が務まるは分かりませんが、出来る限り力になれるように頑張りますので、一年間よろしくお願いいたします。



奉仕プロジェクト研究会によせて

青少年奉仕担当カウンセラー

高橋 賢吾 (水戸西 RC)

青少年奉仕は、唯一 R I の正式プログラムとして採用されています。すなわち、次代を担う青少年を育成することが、ロータリーの使命であることを表しています。

ローターアクトクラブについては、昨年の規定審議会において、R I に加盟することが決定されました。このことは、R I との関係性をより高い位置づけにしてロータリーファミリーに迎え入れることを意味しています。今後は、ローターアクターを支援・育成することだけではなく、ロータリアンと一緒に若い人たちのアイディアを取り入れた共創の奉仕活動を企画・運営することが求められます。

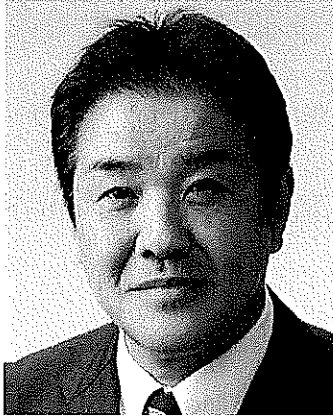
インターアクトについては、ローターアクターに繋げる唯一の活動なのですが、課題が多くなかなか実現できません。しかし、課題を克服してインターアクターがローターアクターになるシステムを試行錯誤しながらでも作り上げていかなければなりません。また、インターアクトクラブが少ないことも問題です。各クラブの地元には、必ず高等学校があります。クラブの青少年奉仕活動の一環として高校に足を運び、インターアクトの P R を行っていただくことも必要です。

青少年交換は、本年度はコロナウィルス感染の影響で中止となりました。このプログラムは、高校時代に1年間海外に留学するというだけでなく、交換生が生涯の財産を得るとともに、私たちロータリアンの次代の財産を生み出すプログラムなのです。今後も継続事業として交換生と対象国を増やすことも検討する価値はあると思います。

ライラについては、毎年多くの青少年を対象に、ロータリー・奉仕活動・リーダーシップなど、青少年が語り合い、実践し、行動する機会を提供するロータリー独自のセミナーです。継続事業として斬新で独創的なライラセミナー開催していただければありがたいです。今後の課題として、ライラセミナーに参加した若者がこれからもロータリー接する機会を作り、ロータリーファミリーの輪を広げていくことが必要となります。

青少年奉仕活動を遂行する上で、大切なことは危機管理です。地区では、全国組織である R I J Y E M の保険に加入し、事故・疾病・セクハラ・パワハラなど、事後の対応はカバーできますが、必要なのは予防処置です。2820地区では、危機管理委員会を組織化し、危機管理規定を策定し、未然防止と問題発生後の初期対応に努めています。青少年奉仕活動に携わるロータリアンの皆様には、連絡と情報交換を密にして、青少年を危機から守ることに尽力することが求められています。

今年一年間、ロータリアンの次代の財産を育む青少年奉仕活動にご協力をお願いし、素晴らしい成果が得られますことを祈念しまして挨拶いたします。



奉仕プロジェクト研究会によせて

クラブ奉仕総括委員長

大高 司郎（高萩 RC）

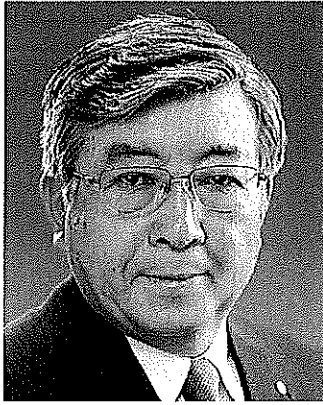
ロータリー戦略計画には、「人道的奉仕の重点化と増加」が優先項目の一つとなっており、国内外の地域社会に好ましい変化をもたらす奉仕プロジェクトに参加することは、すべてのロータリアンの責務とあります。

クラブ奉仕委員会は、会員増強委員会、クラブサポート委員会、公共イメージ委員会、IT 委員会の 4 つの小委員会で構成されています。その中の公共イメージ委員会は、「世界を変える行動人キャンペーン」を意識した地域社会貢献活動を推進します。「世界を変える行動人」キャンペーンとは、ロータリーとは何か、ロータリアンとはどのような人か、ロータリアンの活動はどのような活動をもたらしているのか、ロータリーは他団体とどう違うのか、ロータリーに対する認識と理解を向上させることを目的にしています。

ロータリーは 100 年以上にわたり、会員の職業の知識やスキルを生かして国際社会と地域社会に貢献してきました。しかし、残念ながらこのようなロータリーの活動は一般の人にほとんど知られていません。

ロータリーに対する一般の人びとの理解を得るのには、国内外を含め、まずクラブは行っている奉仕活動を知ってもらうことから始める必要があります。プロジェクトの規模は大きい必要はありません。所属クラブのプロジェクト/プログラムを紹介して、ロータリー組織全体でも Priority の高い取り組みです。

奉仕活動を PR し、公共イメージを向上しクラブに好印象を抱いてもらえば、入会の関心が高まります。奉仕活動、公共イメージ、会員増強・維持は常に密接な関係にあります。



奉仕プロジェクト研究会によせて

ロータリー財団総括委員長

保延 輝文（石岡 RC）

昨年より中国で発症した COVID-19 の感染拡大は、日本だけでなく世界の社会、経済活動に甚大な影響をもたらしております。ロータリーの活動も、中止あるいは延期となるなど各クラブの運営も停滞を余儀なくされております。しかしこの様な状況下でも、第 2820 地区は奉仕活動の一環として、茨城県に 5 月中旬フェイスシールドを 9 6 0 0 セット寄贈し、医療従事者への支援を行いました。

今年度、池田正純ガバナーは主たる方針の一つとして地球環境問題に焦点を当てられ、環境問題に真摯に取り組んでおられるクラブへの地区補助金の増額をご指示されました。環境問題は現在待ったなしの状況であり、実を的を射たご指摘だと思います。

地区補助金につきましては、（今年度例会の長期休会、及び行事の中止により補助金事業をやむなく断念せざる終えないクラブも散見されました）奉仕事業を行えなかったクラブに参加して頂き、中村年度と池田年度の地区補助金の余剰金を活用し、医療従事者への医療用手袋を茨城県へ寄贈する予定です。

グローバル補助金は、世界目標として今年度年次基金 1 億 3 5 0 0 万ドル、ポリオプラス基金 1 億 5 0 0 0 万ドルとしております。それに沿うべく地区財団目標は、年次寄付 7 年連続「ゼロクラブゼロ」に、年次寄付、ポリオで 150 ドルと致しました。

地区財団としては、各クラブへの円滑なご支援ができるように社会奉仕委員会、国際奉仕委員会と連絡を密にとり、三位一体の体制で臨む所存です。

補助金を活用した事業については、「ただ金銭的な奉仕活動ではなく、心から他を思いやる心が必要である」との想いを日々強く感じております。今年一年間、奉仕プロジェクト委員会の皆様と共に活動して参りますのでよろしく御願い致します。



奉仕プロジェクト研究会によせて

職業奉仕委員会 総括委員長

金田 英樹（水戸東 RC）

今年度はコロナウィルスの影響で職業奉仕研究会は残念ながら開催出来ませんでした。

さて、今年の地区スローガンは

「ロータリアンのイノベーション」～磨こう 人間力！！～ です。

我々ロータリアンは、ロータリーの目的をよく理解して活動してこそ輝くものであると思います。

ロータリーの基本は職業奉仕にあり、ロータリーの活動そのものが職業奉仕と言えます。

職業奉仕を行うにあたっては、自分に与えられた天職（職業）を通して、人の為、世の為に尽くすことが重要であります。

これは、昔の近江商人の考え方である「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしの精神に似ています。

お客様に喜んでもらうことはもちろん、社会貢献が出来てこそその良い商売であるということです。

そのような奉仕の心を持って仕事を行うことがロータリアンには求められております。

我々は、例会を通して親睦が生まれ、奉仕の心を育むのです。

例会への出席がなぜ重要であるかご理解頂けると思います。

今回の研究会は残念ながらコロナウィルスの影響により開催出来ませんでしたが、各クラブの職業奉仕委員長におかれましては、このような職業奉仕の概念を理解され、そのことを自クラブに広めて、各委員が活発に職業奉仕活動を行うことを希望します。

ロータリー活動に終わりはありません。ロータリアンがご自分の職業に誇りを持って高潔な職業奉仕活動続ける限り繁栄がもたらされると考えます。

ロータリーの崇高な考えを理解しながら、ロータリーと共に発展していこうではありませんか。

最後に皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



奉仕プロジェクト研究会によせて

社会奉仕委員会 総括委員長

佐川 真治（水戸東 RC）

コロナ禍の影響により各種研修会等々が中止・縮小となり社会奉仕委員長の皆様におかれましては大変苦慮されていることとお察しいたします。

社会奉仕委員会といたしましても、多くの方を一堂に会するセミナーの開催をするにあたり協議を重ねてまいりましたが、今回の開催は中止をすることといたしました。

社会奉仕委員長の皆様には大変なご迷惑をおかけいたしますこと、お詫び申し上げます。

そこで社会奉仕研究会資料として 2017-2018、2018-2019 年度の 2820 地区内全奉仕事業を USB メモリーにて配布をいたします。

2017-18 年度、2018-19 年度の 2 期分を網羅してございますので、クラブでの奉仕事業をご協議頂くとき、他クラブの事業展開をお調べしたいとき、自クラブの事業の見直し等にお役立てして頂きたく作成をいたしました。

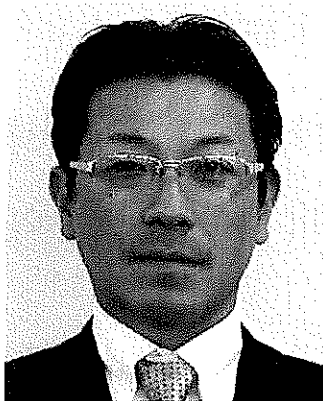
内容としては 2017-2018 年度、2018-2019 年度の現況報告書より抽出した奉仕事業一覧です。社会奉仕の他に、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕のすべての奉仕プロジェクトが掲載されております。

USB メモリーですのでコピーは簡単にできますし、Excel データですので容量的には非常に軽くできしており、メール添付等も簡単に行えます。是非とも社会奉仕委員会だけではなく、他の奉仕委員会の委員長様とも共有され、クラブでのご活用をいただけますようお願い申し上げます。

池田ガバナーの提唱する地区目標に環境問題があります。各クラブで環境問題、特に温暖化に対する取り組みをして頂けるようお願いいたします。これは特に事業をして下さいと言う要望ではなく、会員事業所や地域から温暖化について調査をし、協議をして頂き、クラブとして何ができるのか、また会員事業所一つ一つで何ができるのかを検討して頂きたいと考えます。その中でクラブの事業としてできる事があれば進めて頂きたいと考えます。

その環境問題への取り組みや調査、報告のアンケートをすることも予定をしておりますので、社会奉仕委員長の皆様には取り纏めをして頂きますことをお願い申し上げます。

コロナ禍の中、大変な毎日をお過ごしのこととは存じますが、これからの 1 年間、ご協力の程よろしくお願いいたします。



奉仕プロジェクト研究会によせて

国際奉仕委員会 総括委員長

石井 康弘（水海道 RC）

今年度、奉仕プロジェクト国際奉仕委員会総括委員長を仰せつかりました、石井康弘（水海道 RC 所属）でございます。初めての総括委員長なので不慣れな点も御座いますが、一年間何卒、宜しくお願い申し上げます。

皆様もご存じの通り、コロナ時世により世界中が混乱し出入国もままならない事態に陥っております。我々国際奉仕委員会としましては、多大な影響を受けているのが現実であります。

しかしながら、新メンバーの皆様とのリモート委員会等を通じて、研究会については「密」を避ける意味で書面研究会となりましたが、「この指とまれ」事業については実施しようという意見にまとまりました。先般、国際奉仕委員会としてのアンケートを各クラブ様へ送信し、回答を確認したところ、想像よりもはるかに多い「賛助クラブ」の皆様からの返信が見受けられ、提唱クラブ様においても 4～5 クラブの提唱が確認されました。

「この指とまれ」事業については「書面研究会資料」に含ませて頂きますので、一つでも多くの賛助と「奉仕と友情」を刻んでいただければ幸いです。

また、グローバル補助金については、ロータリー財団委員会様と更に密な連携を再度確認しあい協力していくことを確認しております。

奨学金及び奨学生、国際交流共同などにつきましては、この時世ということも御座いますが、再度、今日までの経緯や実際に行ってきた事業などを再確認する作業をすることを決定しております。新友好地区としまして「ネパール」も加わり、我々国際ロータリー第 2820 地区も、新型コロナウイルスに負けず、更なる会員意識の向上と、国際奉仕活動の発展を目指して邁進する所存でございます。

皆様におかれましても、ウイルスの猛威や、災害が非常に多発しておりますので、お身体には十二分にご自愛頂き、ロータリアンとしての活動また職業のご成功を心からご祈願致しまして、初年度のご挨拶にかえさせていただきます。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



奉仕プロジェクト研究会によせて

青少年奉仕委員会 総括委員長

川上 美智子（水戸好文 RC）

青少年奉仕は、ロータリーの五大奉仕部門の1つに位置づけられ、未来の社会を支える若者を育成する重要なプログラムとされ、当地区では4委員会に分かれその運営が行われています。

「インターアクト委員会」は、地区内高等学校5校のインターアクトクラブの社会奉仕活動や国際理解プロジェクトを支援しています。

「青少年並びにライラ委員会」は、14歳～30歳のロータリーファミリーや一般青少年にリーダー育成のための指導者養成プログラム（RYLA）を提供しています。

「ローターアクト委員会」は、地区内8つのローターアクトクラブに所属する30歳以下（2020年7月1日より規程改定により年齢制限を35歳までに変更）の大学生・社会人の専門技術・指導能力の開発、職業倫理の向上を目的に、奉仕活動や交流活動を支援しています。

「青少年交換委員会」は、長期（アメリカ、フランス、タイ3ヵ国、10ヵ月）、短期（タイ、8日間）の高校生交換留学を支援しています。

青少年奉仕の活動は、地区委員の他、インターアクトクラブやローターアクトクラブの提唱クラブ、ライラセミナーへの参加協力、青少年交換アウトバウンド派遣の推薦やインバウンドのホームステイ受け入れなど、第2820地区ロータリークラブのたくさんの皆様に支えられ今日に至っています。どうぞご理解を賜り、積極的に青少年奉仕活動に参加頂きますようお願い申し上げます。

今年度のホルガー・クナークRI会長は、「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げ、「奉仕プロジェクトは、会員自身の人生をより豊かにする道を開き、どこかの誰かの機会の扉も開く」としています。更に、ロータリーを持続可能に継承するための変革と、中核的価値の大切さを唱えています。それを受け、池田正純ガバナーの方針は「ロータリアンのイノベーション・磨こう人間力」です。地区青少年奉仕方針には、①青少年奉仕活動のイノベーション、②持続可能な人材育成、③危機管理の徹底の3つを挙げさせていただきました。

昨年度からの懸案事項であったローターアクトクラブは、RI加盟クラブとなり、7月1日より、RIの「標準ローターアクトクラブ定款」が適用されます。それに伴い、地区ローターアクトクラブも前述の通り、年齢制限を35歳まで引き上げる運営規則の改定を行い、会員の幅を広げて行きます。また、海外との交流を中心とする青少年交換事業や、インターアクト台湾研修も1年間休止の方向です。

新型コロナウイルス禍にあって、今年度、安全を第一優先にどこまで青少年奉仕活動が実施可能か不透明な部分が多々ありますが、別の形でできることを見つけて取り組んで行きたいと思います。

一年間、クラブ青少年奉仕委員長の皆様にはご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

奉仕プロジェクト

職業奉仕委員会

担当カウンセラー	白戸 仲久	(PG 古河中央)	
総括委員長	金田 英樹	(水戸東)	奉仕プロジェクト担当
委員	鈴木 富士雄	(つくば学園)	
	風見 義孝	(境)	

社会奉仕委員会

担当カウンセラー	倉沢 修市	(PG 竜ヶ崎)	
総括委員長	佐川 真治	(水戸東)	奉仕プロジェクト担当
委員	高島 章行	(日立南)	研修等担当
	白戸 里美	(古河東)	地区奉仕事業担当
	佐藤 ばうろ	(土浦)	奉仕事業担当

国際奉仕委員会

担当カウンセラー	佐藤 衛	(PG 水戸南)	
総括委員長	石井 康弘	(水海道)	奉仕プロジェクト担当
委員	大堀 健二	(つくば学園)	WCS・グローバル補助金担当
	伊藤 幸司	(東海那珂)	国際交流奨学金担当
	二川 隆司	(水戸南)	国際交流共同担当・フィリピン担当
	平島 隆之	(土浦)	国際交流共同委員・タイ担当
	宮田 憲一	(下館)	国際交流共同委員・ネパール担当

青少年奉仕委員会

担当カウンセラー	高橋 賢吾	(PG 水戸西)	
総括委員長	川上 美智子	(水戸好文)	奉仕プロジェクト担当
委員	楠 秀夫	(土浦南)	インターアクト委員長
	菅原 光雄	(日立港)	インターアクト委員
	中山 元章	(土浦南)	インターアクト委員
	島田 智和	(東海那珂)	インターアクト委員
	齋藤 佳昭	(水戸)	インターアクト委員
	高田 稔美	(つくば学園)	青少年並びにライラ委員長
	小野瀬 勝義	(大洗)	青少年並びにライラ委員
	諸岡 佳子	(竜ヶ崎)	青少年並びにライラ委員
	根本 華誉	(水戸西)	青少年並びにライラ委員
	沼尻 大	(土浦)	ローターアクト委員長
	妻鹿 克俊	(水戸東)	ローターアクト委員
	宮田 憲一	(下館)	ローターアクト委員
	安 圭一	(水戸)	ローターアクト委員
	黒羽 豪	(日立中央)	ローターアクト委員
	鈴木 日出夫	(古河中央)	ローターアクト委員
	沼田 元良	(水戸)	青少年交換委員長
	友田 みわ	(水戸好文)	青少年交換委員
	野村 貴広	(水戸西)	青少年交換委員
	須永 恵子	(古河東)	青少年交換委員
	新井 和雄	(下館)	青少年交換委員
支援アドバイザー	清水 清	(PG 日立)	
	井上 壽博	(PG 水戸)	

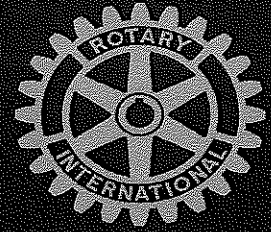
第 2820 地区 池田 正純 ガバナー事務所

〒300-1207 牛久市ひたち野東 5-3-2 池田ビル 202

TEL 029-886-5411 FAX 029-886-5413

Website <http://www.rid2820.jp>

E-mail 20-21@rid2820.jp



2017－2019 地区奉仕一覧

奉仕活動データ活用ガイド

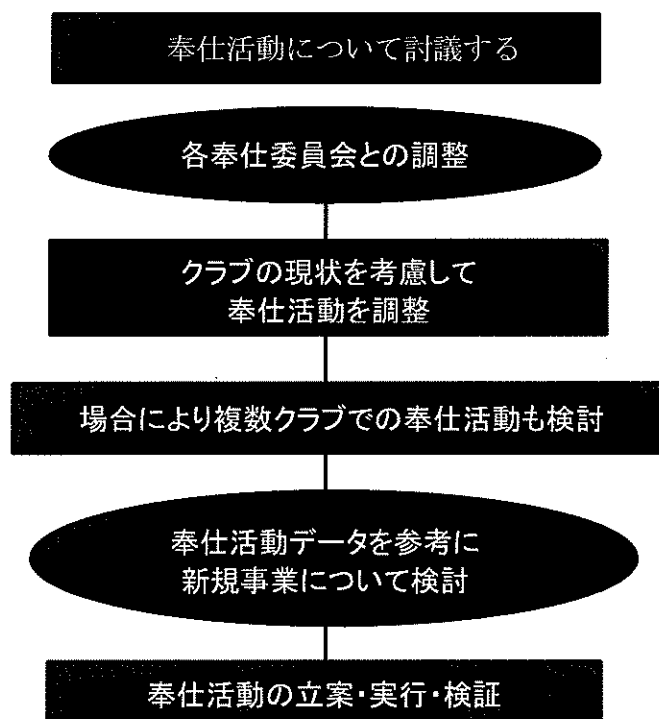
2020年7月 2820地区 社会奉仕委員会

2820地区社会奉仕委員会では、2017－2018年度より地区各クラブの奉仕活動について調査・研究をすすめてまいりました。奉仕研究会においては各分区ガバナー補佐の方々のご協力をいただき各クラブ社会奉仕委員長の皆様に所属分区のみならず他分区・地区内各クラブの奉仕活動についての事例研究とグループディスカッションを通じて自クラブの奉仕活動の方向性や具体的内容について検討いただきました。

この「奉仕活動データ活用ガイド」は、2017－2018年度、2018－2019年度の2年間の地区内奉仕活動についてまとめたデータの活用についてふれさせていただいております。地区内でも地域性がある事を考慮し各分区毎にデータはまとめました。また地区内各クラブの奉仕活動を奉仕活動別（職業・社会・国際・青少年・奉仕プロジェクト・インターアクト・ローターアクトその他）にまとめた一覧も末尾に掲載してあります。奉仕活動立案に少しでもお役に立っていただきたい資料です。

奉仕活動を立案する際の考慮点：

- ・ 会長、各奉仕委員長等を含む奉仕委員会で奉仕活動について、継続事業・新規事業また社会奉仕・青少年奉仕等複数委員会の共同事業について討議する。
- ・ クラブの現状を考慮し場合により複数クラブでの奉仕活動についても検討する。
- ・ 新規事業について奉仕活動データを参考に検討する。（他クラブにヒヤリングする）
- ・ クラブの目標にあった奉仕活動を立案・実行・検証し次年度への参考ににする。



奉仕活動データ活用シート

(年～

年用)

RI第2820地区

RC

1. 奉仕活動について各委員会で討議をしてみましょう。

2. 各委員会の奉仕活動予定

奉仕活動によっては複数委員会が連携して実施できる事業もありそうです。

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

--	--

国際奉仕委員会

青少年奉仕委員会

--	--

3. 分区内で共同事業が実施できそうなクラブはありませんか？

4. 2017－2019奉仕活動一覧で気になった奉仕活動はございましたか？

5. 今年度の奉仕活動はお決まりですか？

奉仕活動	奉仕内容	実施時期	関連委員会・団体	担当委員会
				委員会
				委員会
				委員会
				委員会

以上ご協力ありがとうございました。大変な環境ですがお体に気をつけて奉仕活動も実施していただければ幸いです。

7. 「この指とまれ」事業について

国際奉仕活動事業の中にも簡単な説明を記載致しましたが、「この指とまれ」事業とは、国際ロータリー第 2820 地区独自の世界社会奉仕（WCS）プログラムです。

趣旨としては、「一つのクラブでは資金的に困難な時、もう少し大きな事業をしたいとき」事業の提唱クラブとなりプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というプログラムです。

しかしながら、冒頭から申し上げております通り「新型コロナウイルス感染予防」に伴う世界的危機が発生し、今年度の事業は諦めざるを得ないとまで行き着きました。しかし、国際奉仕委員会のリモート会議を通じ、独自のアンケートを実施してみました結果、「提唱クラブ及び賛助クラブ」の手が多く上がりました。その結果を受け、従来とはやり方そのものが異なっておりますが、以下の内容にて今年度の「この指とまれ」事業を実施することとなりました。皆様のご理解とご協力そして、「奉仕と友情」の架け橋になれば幸いと考えております。何卒、宜しくお願い致します。

本来は、「研究会」にて「提唱クラブのプレゼンテーション」が行われ、後に締切日を設定し「賛助クラブが提唱クラブへの賛助金額記入用紙に記載し返信・振込」というのが従来のやり方でした。冒頭から申し上げます通り「密」を避けるため、今年度は「書面プレゼンテーション」及び「書面賛助記入用紙」という形に変化させて実施いたします。

もちろん、提唱クラブに対しては従来の記入様式よりも「詳しく丁寧に伝わりやすく」を根底におき、賛助クラブへのご理解とご協力を深めるものとしたいと考えております。

現在、提唱クラブとして手を挙げられているクラブは「5 クラブ/4 提唱」です。

・しもだて紫水 RC ・結城 RC ・日立 RC/下館 RC ・玉造 RC の皆様ですが、「提唱クラブプレゼンテーション」用紙を以下に添付し、この書面研究会資料がお手元に届き、理事役員会等でお決め頂いた結果を、別紙「賛助クラブ記入用紙」にご記入頂き、締切日までに下記送信先へ返信をお願い致します。

締切日 : 資料到着日～2020 年 9 月 26 日（土）締切

返信先① : 国際奉仕委員会 総括委員長 石井康弘（水海道 RC）

Mail : yasuhiko.ishii@icits.co.jp FAX 0297-23-2596（石井化成品(株)内）



返信先② : 池田正純ガバナー事務所 国際奉仕委員会

Mail : 20-21@rid2820.jp

FAX 029-886-5413 (国際奉仕宛て)

「提唱クラブプレゼンテーション」

事業名	ペンシルプロジェクト	
提唱クラブ詳細	クラブ名称	しもだて紫水ロータリークラブ
	会長・幹事名	会長：野口 均 幹事：糸川秀樹
	担当者名	杉山 光
	担当者携帯☎	090-1763-8458
	担当者 mail	h-sugiyama@ichibantei-g.com
対象地域	3810地区：フィリピン	
相手団体	TRECE MARTIREZ RC	
事業内容	日本の子供たちが使用しなくなった鉛筆、ノート、文具、また新しく購入した鉛筆等を直接フィリピンの小学校に出向き、フィリピンの小学生たちに手渡しプレゼントする事業です。 この事業は今年で11年目を迎え毎年2回フィリピンに出向き実施している継続事業です。	
概略予算	200,000円	
その他付記事項	昨年度はコロナウイルス感染症により海外へ出向くことの自粛要請が政府からあり1回の実施でした。	

事業名	ネパールの貧しい子供たちへの就学支援	
提唱クラブ詳細	クラブ名称	日立ロータリークラブ 下館ロータリークラブ（共同提唱）
	会長・幹事名	日立 RC 会長 鈴木茂美 幹事 皆川 裕 下館 RC 会長 神山芳子 幹事 宮田憲一
	担当者名	日立 RC 国際奉仕委員長 中原 昭 下館 RC 国際奉仕委員長 葉 章二（担当）
	担当者携帯☎	葉 章二 080-6536-1406
	担当者 mail	葉 章二 shoji.yo@sekisho.co.jp
対象地域	第 3292 地区 ネパール	
相手団体	第 3292 地区カスタマンドアップ RC（下館 RC ツインクラブ）	
事業内容	2018-2019 年度、2019-2020 年度に引き続き、今年度もネパールの貧困児童へ学用品（文房具類、教材、スポーツ用品）の支援を行う。RI 方針に則り、量の確保と現地経済支援のため支援品は現地購入で行う。 支援品の配布には過去十数年来、ともに協働奉仕で手を携えてきたネパール・カスタマンドアップ RC とともに実施していく。	
概略予算	日立 RC：10 万円 下館 RC：10 万円 カスタマンドアップ RC：10 万円 この指とまれ協賛 40 万円 合計 70 万円	
その他付記事項	当地区でのネパール支援は中村直前バスターガバナーをはじめ、長年にわたり持続的かつ活発に行われてきました。池田ガバナー・新井ガバナーエレクトがともに臨まれた第 3292 地区との友好地区締結により今後更なる友情と支援の輪を広げていくその一翼を担えればと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。	

事業名	MOTTAINAIPROJECT 2020	
提唱クラブ詳細	クラブ名称	玉造ロータリークラブ
	会長・幹事名	荒井 一美 ・ 前田 成子
	担当者名	茂木 宏一
	担当者携帯☎	090-8586-6525
	担当者 mail	ken.zen@camel.plala.or.jp
対象地域	ミャンマー連邦共和国	
相手団体	ヤンゴン近郊の孤児院または学校（選定中）	
事業内容	ヤンマーでは貴重とされる書籍を約 1,000 冊程度贈呈させていただき、繰り返し使ってもらうこと人材教育に貢献することができると確信します。 併せて以前協力いただいた文房具・ノート・筆記用具を持参し余剰金が出ればともに寄付させていただきます。	
概略予算	30 万円（この指とまれ事業協力金 15 万円+玉造 RC15 万円）	
その他付記事項	新型コロナ行けない場合、書籍は現地調達へするので、渡航できない場合は現地協力者の力を借りてリモート贈呈式とさせていただくか、次年度に延期させていただく場合があります。	



事業名	あなたの思い出のランドセルを世界で役立てよう	
提唱クラブ詳細	クラブ名称	結城ロータリークラブ
	会長・幹事名	齋藤 章 石嶋 雅司
	担当者名	国際奉仕委員長 小貫 隆嗣
	担当者携帯☎	090-2323-9683
	担当者 mail	hfcpm672@ybb.ne.jp
対象地域	タイ王国	
相手団体	パツムワンRC	
事業内容	6年間使用した思い出のランドセルを結城市立小学校卒業生から寄贈していただきタイ王国の僻地小学校児童へ寄贈する	
概略予算	30万	
その他付記事項	前年同企画を実施した。120個のランドセルをタイ王国チェンマイ県プラカーン地区小学校へ寄贈。航空便で送ったがコロナウイルス感染症蔓延の為贈呈手渡し式は延期し現在に至っている。本年度も同様に実施し明年手渡し式を計画している。事業対象地区詳細は未定	



「賛助クラブ記入用紙」

国際奉仕委員会 総括委員長 石井康弘 宛て

記入日 年 月 日

賛助クラブ名 :

提唱クラブ名	提唱クラブ 事業名	賛助金額
しもだて紫水 RC		円
日立・下館 RC		円
玉 造 R C		円
結 城 R C		円

・賛助の理由（ご意見・ご感想・ご質問など御座いましたらご記入ください）

振込先 : 常陽銀行 牛久支店（店番：101）

普通口座 : 口座番号：1555115 口座名 : 奉仕プロジェクト委員会

締切日 : 資料到着日～2020 年 9 月 26 日（土）締切

返信先① : 国際奉仕委員会 総括委員長 石井康弘（水海道 RC）

Mail : yasuihiro.ishii@icits.co.jp FAX 0297-23-2596（石井化成品係内）

返信先② : 池田正純ガバナー事務所 国際奉仕委員会

Mail : 20-21@rid2820.jp FAX 029-886-5413（国際奉仕宛て）